

朴 珠 抄

能村研三推薦

瞬きをせぬ梟の殺気かな
行く秋やチェロの啼きたる鳥の歌
行く川の生絹びかりや秋惜しむ
追熟のいよいよ乾反る唐辛子
どの向きに置いても傾ぐ花梨の実
素手といふ道具勤労感謝の日
獣道消すため落葉たんと降る
鶏頭を撫でてやつては種を採る
寄り添うて弾き合うては木の実独楽
痛さうに残つてゐたり桃の種
十一月の竹林雄雄しくて閑か
柘榴の実ざつくばらんと話さうよ
一瞬の異界を見せて稲びかり
秋天の極みへブルーインパルス
厄晴の艶へうたんの柿色に

内山花葉
平松うさぎ
菊地光子
大沢美智子
能美茅柴
七田文子
峰崎成規
荒井千佐代
道端 齊
大川 ゆかり
甲州 千草
細川 洋子
村上 葉子
澤田 英紀
兵藤 惠